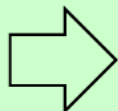


模範的な経営を志し、後継者が安心して働ける環境を作る取組 ～農事組合法人 豊木ファーム（岐阜県大野町）～

経営体の概要

事業実施前：平成25年
基幹作物：水稻、小麦
経営面積：25.4ha



現在：平成30年
基幹作物：水稻（主食用米、飼料用米）、小麦、大豆
経営面積：39.4ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

集落営農組合として、水稻、小麦の作業受託をしていたが、会計事務の明確化、雇用環境の充実を図ることを目的として農事組合法人を設立した。地域の担い手として綺麗なほ場管理に務めるとともに、経営を細かく把握し、分析や改善を続け、模範的な経営となるよう務めることで、国営事業により用水の安定供給が行われている本地域の農地を維持するとともに、後継者が安心して働ける環境づくりを目指している。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上

小麦→小麦+大豆→水稻の作付体系により、夏場作業（2年目の小麦作付けのためのトラクター作業）を確保しつつ、乾燥させたほ場での大豆作付けを行っている。小麦・大豆作では、額縁排水、弾丸暗渠（2～3m間隔）の徹底により排水性を確保している。地域農業を支える担い手として、綺麗なほ場管理に務めている。



役員・社員の皆さま

②省力化・低コスト化の取組

ほ場の畦畔除去により、機械作業効率の向上を図っている。防除作業や農機メンテナンスの外注を取りやめ、可能な限り自前作業に切替え、コストを削減する他、部品管理、修理道具管理、書類管理を徹底し、作業の効率化を実現している。



弾丸暗渠を入れたほ場

③担い手の育成・確保

収量や収益の向上、農地の維持を理念とする法人へと組織を発展させるとともに、福利厚生を充実させ、後継者が営農に従事しやすい環境を整えている。また、給与を時給制から月給制にしたことで、時間を有効に活用し、作業員がそれぞれの裁量と責任によって作業を行う意識が高まるなど、後継者の育成に貢献している。

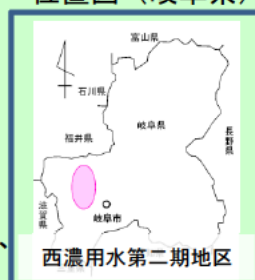


乗用管理機

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：大垣市、養老町、垂井町、神戸町、揖斐川町、大野町、池田町
受益面積：5,342ha
事業期間：平成21年～平成26年
事業目的：用水改良
主要工事：頭首工改修1箇所、用水路改修L=4.0km、水管理施設改修

位置図（岐阜県）



<問い合わせ先>

東海農政局
農村振興部農地整備課
課長補佐（競争力強化事業推進）
電話：052-223-4638

（平成30年度調査時点）